

2014 Hiyokochan

GROW UP!!

And Minnamo

Vol. 3

2015. 3. 30. 発行

看護教育委員会



躍進!

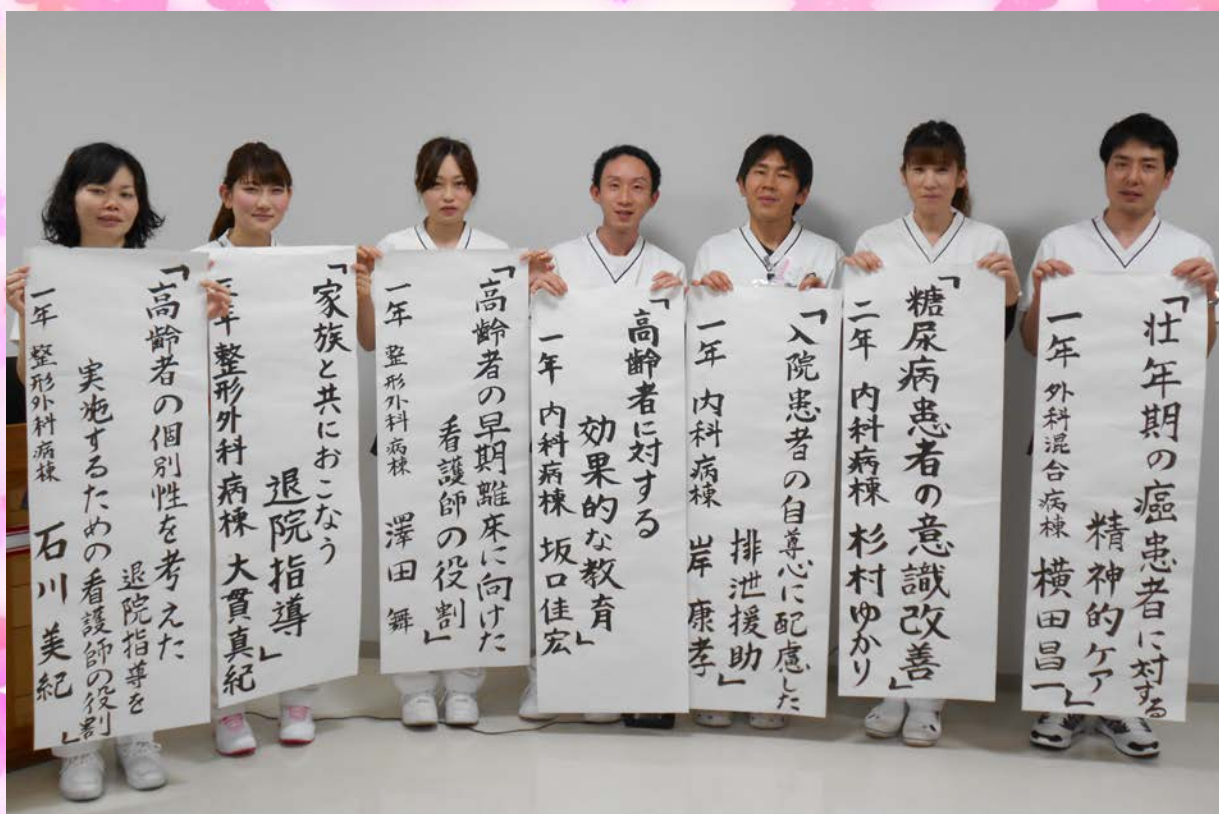


ケーススタディー発表!!

新人のひよこ達と2・3年目看護師は、昨年10月～12月のおよそ3か月間、現場で一人の患者さんの入院から退院までを受け持ち、先輩看護師と共に看護過程の展開について実践・学習してきました。一人の患者さんについて、疾患のみならず、専門職として今この人に必要な看護とは何だろうか?と考えることになりました。

1月に入ってから、一つの事例について自身の行った看護とは何だったのかを振り返り、一つの論文にまとめてきました。

そして2月28日、先輩看護師の前で緊張しながらケーススタディーを発表することができました。



H26年度 ケーススタディー発表



ケーススタディーで学ぶこと

ケーススタディーの最後に全体を通しての講評をいたしました。ケーススタディーで学習することについて、ケースを学習する時・その指導をする時に、第一歩として知っておきたいことです。

今回ケーススタディーの発表に参加できなかった看護師の皆さんにもお知らせいたします。

看護師に必要な5つの能力

- ①判断力
- ②知識力
- ③技術力
- ④コミュニケーション力
- ⑤精神力



ケーススタディーでは、主に④を学びます。

- ◆看護師が活用する情報は社会的背景や制度も含め広域に取得する必要があります。
- ◆その中で患者や家族の状況を判断し入院という時間軸の中で出来る事を計画的・意図的に実践する必要があります。
- ◆看護師がおこなう情報収集・交換・共有・伝達・対話のレベルが患者や家族の今後のQOLに大きく影響します。

コミュニケーション能力を高める為に欠かせないことは、専門職として知るべき又は知り得た情報を、

- ①収集すること
- ②交換すること
- ③共有すること
- ④伝達すること
- ⑤対話すること



です。

- ◆専門職看護師として、又、病院に勤務している看護師としての役割を果たすために、日常看護から学ぶべき事は沢山あります。
- ◆成長段階の中で看護師としての自分を適正に評価し不足しているものを明確にする作業がケーススタディーでした。
- ◆其々の学びを明日からの看護に活かして下さい。





1年目ケーススタディーの舞台裏紹介

今年度からケーススタディーの発表は、現場のスタッフの中よりプロジェクトチームを新たに組み、宣伝・企画・運営をしていました。

プロジェクトチームのメンバーは、宣伝活動としてポスターを制作し各部署へ配布をしました。当日も司会・進行を担当しました。「ミスチル」のBGMの中、会場をリラックスさせる発表者紹介を入れ、和やかに発表会を進行させてきました。発表者紹介を聞いたうえで発表に耳を傾けると、他部署のひよこにも親近感と興味を持つことができました。

そんな発表者紹介の一部とプロジェクトメンバー表情を紹介します。

休みの日にはゴルフの練習に出かけたり、最近
は20年来続けているスキーをしに苗場に行
ったそうです。
サングラスをかけ、かっこよく決めている姿を
想像してしまいます。
今日もかっこよく決めてくれるでしょう。



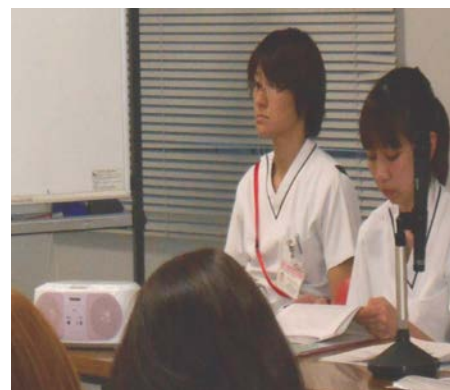
趣味は、スノーボードやサッカー、
ブラックバス釣りもされるそうです。
スノーボードは
忙しくて今シーズンまだ行けていないので、
この発表が終わったらぜひ、
行ってきてもらいたいです。

キャラ弁作りにはまりひよこやお花畑、リラックマも
作るそうです。かわいくておいしそうですね。
誰に造っているかは内緒です。
発表はかわいくとはいきませんが、キャラ弁のように
創意工夫されていることでしょう。



休みの日には2歳になるお子さんと遊んでいることが多いそうです。
今回のケースのまとめも、お子さんが寝ている隙に頑張られたことでしょう。
今日の心配なことはという質問には
うまく話せるかが、心配ですと帰ってきました。
さあ、深呼吸をして～

趣味は、トレイルランと言って、山道を走っています。
来月には伊豆で行われる、70キロの大会に参加されます。
いつもは20キロ程度の大会に参加ですが、
こんなに長い距離の大会は初めてだそうです。
トレランの大会とケースの発表どっちが緊張するか尋ねたら、
ケースの発表だそうです。



1年目のケーススタディーを終えて…

普段自分の看護について振り返る機会はなかなかないので、
今回のケーススタディーで自身の看護を考え振り返ることができて良かったです。
また、他の人の発表を聞いて、学ぶ事も多くありました。
ケーススタディーでの多くの学びを今後に活かして頑張っていきます。
4F 澤田 舞

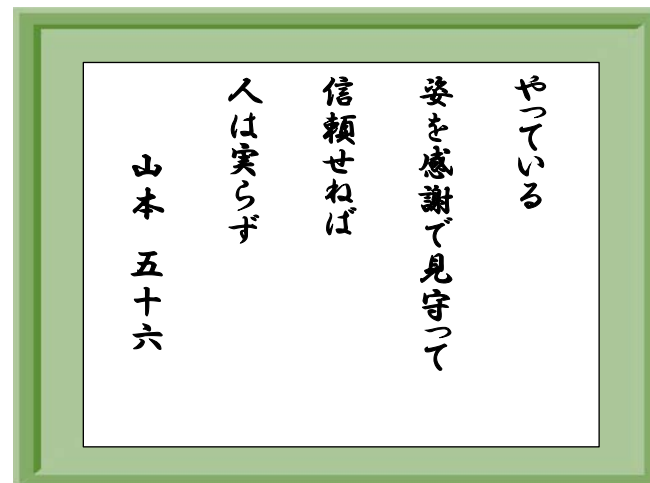
自分の行った看護を振り返り文献を用いて評価することで
継続して行った方がよいことと、改善した方がよかった事が明確になったので
勉強になりました。
終わってホッとしています。
5F 坂口 佳宏

終わって良かったです。
年々求められることが難しくなりますが、頑張ります。
5F 岸 康孝

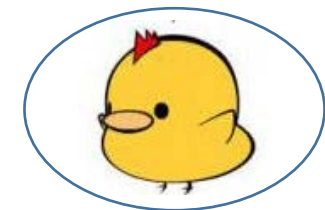
初めてのケーススタディで、何をしたらよいかわからずにいましたが、看護部長をはじめ、
プリセプターNsや病棟スタッフのみなさまにご指導をいただき、少し理解できたかと思えます。
来年に今回の反省を活かせるようにしたいです。
3F 横田 昌一

自分の看護をふり返ることができ、
多くの気づきと学びを得ることができて良かったです。
4F 石川 美紀

新人サポートの心得 その3



新人としての1年が過ぎ、
ひよこに小さなとさかが生えてきました。



今後もよろしくお願ひします。
看護部教育委員会より
広報担当：野村・本多

